

2026年1月14日

日本ガイシ株式会社

「CDP水セキュリティ」で最高評価の「Aリスト企業」に2年連続で選定

日本ガイシ株式会社(社長:小林茂、本社:名古屋市)は、環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体CDPにより「水セキュリティ」分野において、最高評価の「Aリスト企業」に選定されました。Aリスト企業への選定は、2024年度に続き2年連続となります。

CDPは、企業や自治体の環境情報を開示し「気候変動」「水セキュリティ」「森林」に関する取り組みを評価する国際的な非営利団体です。世界中の企業や自治体の環境情報を保有しており、2025年は約22,100社の組織がCDPを通じて環境情報を開示しました。

CDP水セキュリティでは、企業が水リスクを管理し、持続可能な水資源の利用を確保するための取り組みを評価・公表しています。

NGKグループは2021年4月に策定した「NGKグループ環境ビジョン」の中で、事業活動を通じた「カーボンニュートラル」「循環型社会」「自然との共生」の実現への寄与を目指しています。その一環として、持続的な水資源の活用を進めており、シナリオ分析を用いた世界各地の拠点の水関連のリスク・機会の特定や対策の検討、水関連の環境貢献製品の開発普及などに取り組んでいます。今回の選定は、環境方針の明確化やバリューチェーンとの協働強化を行ったことが評価されました。今後は、評価された点をさらに深化させるとともに、再生水を利用したシステムの生産工程への導入拡大や、特に水リスクの高い拠点における水資源管理の充実を図り、水資源のさらなる有効利用を促進していきます。

当社は今後も独自のセラミック技術を基盤にエネルギーの未来、地球環境の保護、産業の発展を推進する企業として、持続可能な社会の実現に貢献します。



＜お問い合わせ先＞ コーポレートコミュニケーション部 / 狩谷、塚本 TEL: 052-872-7980